

12章 総合問題12

問題

【1】

解答

ア g イ h ウ b エ f オ c 力 e

解説

ア 空所アの直前の文に、「前述の事柄から期待，予想されることに反する状況を述べる」howeverがあるので，直前の文に新情報が付け加えられていることがわかる。その新情報とは「サーフィンの起源はポリネシア民族の古代史までさかのぼることができる」であるので，「ポリネシア民族」について言及してあるgの文が候補にあがる。また，gの文には「タヒチ」についての記述もあり，これは直後の第2段落のBut while Tahitians are said to …の記述ともつながっており，「段落の最終文は，次の段落の第1文との橋渡しになる」という原則にも当てはまる。したがってgが正解。

イ 直後の文も空所となっているので，この段落のそれまでの部分の内容から判断するしかない。

直前の文By the end of the 18th century, when the first Europeans visited Hawaii, surfing was already deeply rooted in many centuries of Hawaiian legend and culture.のイタリックで示した箇所が新情報であるので，「ハワイの伝説や文化」に基づいた具体例を挙げているhが入る。

ウ 直前の文が空所となっているし，ウは段落のトップセンテンスでもあるのでこの段落の残りの内容から判断する。

直後の文Before the coming of the ‘white-skinned people’ almost every aspect of life on the islands, including surfing, was ruled by a code of taboo.（いわゆる『白い肌の人たち』がやって来る以前は，ハワイ諸島の生活のほとんどすべての側面がサーフィンをも含めて，^{きんき}禁忌律によって支配されていた。）とあるので，この段落のトップセンテンスの内容としては，サーフィンとハワイの社会の仕組みに深い関わりがあることを述べているbを選ぶ。

エ 第3段落では，白人が来るまでのハワイについて述べているのに対し，第4段落では，クック船長がハワイに来て50年も経たない頃から，ハワイの伝統的な禁忌律が崩れ出したことが述べられている。したがって，第4段落のトップセンテンスであるエには「ハワイの変貌」についての言及があるfが入る。

オ 第5段落では，ハワイにおけるサーフィンの衰退の様子が具体的に述べられている。したがって第4段落のハワイにおける禁忌律の衰退とサーフィンの衰退の両方に触れているcが入る。

力 第6段落では，サーフィンが衰退の危機を乗り越えてハワイだけではなく世界的に拡大したことが述べられているので，surfing attracted the attention of some curious

and influential *non-Hawaiians*の記述がある **e** を選ぶ。

この 2003 年度に東大で出題された段落整序の問題は、比較的容易であるが、15 分程度で完答するとなると、易問とは言い難い。論理展開を示す語句（ディスコースマーカー）があまり使われていないので、内容をより正確につかむ必要があり、基本的な単語力に欠落があるとうまくいかない。なお、ディスコースマーカーさえわかれば、英文が読め、英語が書けるなどということはある程度あり得ないというのが米国人インフォーマントの常々のコメントであるが、本問はそのことを物語っていると言えよう。

全訳

18 世紀の後半以来ずっとヨーロッパの人たちは、長い硬材のサーフボード上で横たわったり立ち上がったたりしながら波乗りをするスポーツをハワイ諸島と結びつけて考えてきた。なぜなら 18 世紀後半に書かれたジェイムズ・クック船長の第 3 回太平洋遠征の公式航海日誌中に 2 ページに渡ってサーフィンの説明があったからだ。しかしこのスポーツの真の起源はそれよりもずっと古く、ポリネシア民族の古代史にまでさかのぼることができる。**g** 実は短い「ボディボード」に乗って、打ち寄せる波の中で遊ぶ慣習は 4 世紀にタヒチ島からハワイ諸島にやって来たポリネシア人たちによってもたらされたのである。

しかし、タヒチ島の人々は時折ボードの上で立ち上がることがあったと言われてはいるが、長いボードの上でまっすぐに立って波乗りする技術は、ハワイで考案されたものではないにしても、ハワイで完成されたというのは確かなことである。最初にヨーロッパの人たちがハワイを訪れた、18 世紀の末期までには、サーフィンはすでに何世紀にも渡るハワイの伝説と文化に深く根づいたものになっていた。**h** 例えばハワイの地元の地名の中には有名なサーフィンにまつわる出来事を示すものもあったし、サーフィンの達人たちは、新品のサーフボードを使う時に祝うために、波を引き寄せるために、大きな波に挑戦する男女に勇気を与えるために、それぞれの特別な歌を歌ったのであった。

b サーフィンはまた、ハワイの生活の社会の仕組みにも深く関わっていた。いわゆる「白い肌の人たち」がやってくる以前は、ハワイ諸島の生活のほとんどすべての側面がサーフィンをも含めて、^{きんき}禁忌律によって支配されていた。禁忌律は食事をする場所、食物の栽培法、天気の予測方法、サーフボードの作り方、いつ波がよくなるかを予測する方法、さらには神々を説得して波の状態をよくする方法さえも決めていた。ハワイの社会は王室階級と平民階級に明確に分けられており、族長たちがサーフィンを海岸と平民がサーフィンを海岸があった。平民たちは普通最大 12 フィートのボードに横になったり立ったりして波乗りをしたが、族長たちの方は 24 フィートもあるボードで波乗りをした。

f 「白い肌の人たち」の文化とハワイの文化が 18 世紀末にぶつかりあって融合した後で、ハワイは永続的な変貌をとげた。1819 年、クック船長がハワイの人たちと接触して 50 年もたたない頃、支配者カメハメハ 1 世の息子であり、後継者であるリホリホが、母親を含む他の身分の高い女性たちと共に、公の場で食事の席についた。男性が女性と共に食事をするのはハワイの歴史が始まって以来の禁忌であったが、リホリホはヨーロッパ文化の影響を受けていた。彼は基本的禁忌に従うことを拒絶したことにより、古い法秩序にはもはや従わなくてもよいのだというメッセージをハワイ全土に送ったのだ。

c 禁忌律が衰退するにつれて、ハワイ文化におけるサーフィンの儀式的意義も衰退した。

20 世紀が始まるまでには、サーフィンはハワイ諸島からほとんど姿を消していた。サーフィンのほとんどはオアフ島の南海岸で行なわれて、マウイ島、カウアイ島およびそれ以外の島々にサーファーがいることはいるという具合だった。ホノルルはすでにハワイ最大の都市になっていて、ハワイに住む人たちの4分の1がそこに住んでいたが、サーフィンは、その時点でハワイでは珍しいものになっていた。ダイヤモンドヘッドの近くで原住民のサーファーを写した有名な当時の写真が数枚あるが、その男たちのまわりには誰も写ってなくて、おそらくはカメラに向かってポーズを取りながら、かつては何百人というサーファーたちでにぎわっていた場所に、自分たちだけが立っているのだ。ハワイの人たちにとってのサーフィンの重要性というものはほぼ完全に消滅してしまっていたのである。

e しかしながら、このような重大な時にサーフィンが好奇心旺盛で影響力のある非ハワイ系の人たちの注目を引いた。その後印象的な写真と著名な支持者の助けを借りて、サーフィンは世界中に広まり始め、カリフォルニアの海岸やその海岸の先にまで広まった。かつてはハワイという一地域文化の中の、活気ある独特な部分であったものが、世界文化の極めて大衆的な部分としての今日の地位へと成長し始めたのだ。古代のハワイの人々の生活の他の多くの側面とは異なり、サーフィンは現代まで進化し生き延びたのだ。大衆化につきものの商業主義にもかかわらず、サーフィンは世界中の何百万という人々に、楽しみと自然との特別なかわりを提供し続けているのである。

注

本文

- ℓ. 1 ◇ riding on waves < ride a wave
= float on a wave and move forward with it
- ◇ while (you are) lying down
- lying down < lie down = put yourself in a position in which your body is flat on the floor or on a bed
- ◇ hardwood = strong heavy wood from trees such as oak, used for making furniture, etc.
- ℓ. 2 ◇ surfboard = a long piece of plastic, wood, etc. that you stand on when you go surfing
- ◇ has been associated (by Europeans) with the Hawaiian Islands
- associate A with B = connect A with B in *one's* mind
- ◇ ever since = all the time since
- ℓ. 3 ◇ description = a written account
- ◇ include = have or contain as part of a whole
- ◇ the official journal of Captain James Cook's third expedition to the Pacific 「ジェームズ・クック船長の第3回太平洋遠征の公式航海日誌」
- official = published by or coming from a person in a position of authority
- journal = a daily record of news, events or proceedings, esp. a diary.
- Captain James Cook (1728 ~ 1779) = a British explorer who was the first European to discover Australia, New Zealand, and many Pacific islands
- expedition = a journey or voyage made for a special purpose

○ the Pacific = the Pacific Ocean; the world's largest ocean, between America, Asia, and Australia

○ ここではof以下の内容から「航海日誌」とわかる。

ℓ. 4 ◇ the sport = surfing

ℓ. 5 ◇ trace back = follow the course of ~ backward in time

※ trace A back to B (Aの源を調べてBまでさかのぼる) は頻出。A is traced back to Bのように受身形になると難度が上がる。本文はこの形に組み込まれて, be traced (much further) back (than that), to the ~. となった。

cf. We cannot trace the roots of American literature directly back to the mists of American antiquity.

(アメリカ文学の起源を古代アメリカという霧に包みこまれたような太古まで直接たどっていくことはできない。)

It is only natural to connect gestures with magic and beliefs. Many of these are traced back to primitive practices.

(身振りをまじないや信仰と結びつけるのはまったく当然なことだ。これらの多くは太古の習慣が起源なのだ。)

◇ ancient = belonging to times that are long past

◇ the Polynesian peoples 「ポリネシア民族」

○ peoples = all the persons forming a race, tribe or nation

選択肢 g

◇ of: 同格

◇ surf = the mass or line of foam formed by waves breaking on a seashore or reef

◇ Hawaii [həˈwaɪi:] ※ 発音・アクセント注意

本文

ℓ. 7 ◇ are said to have occasionally stood on ~ 「～の上で時折立ち上がることがあったと言われている」 ※ 「完了不定詞」である点に注意。

◇ art = a skill

ℓ. 8 ◇ upright = standing or sitting straight up

◇ certainly: used for emphasizing that something is definitely true or will definitely happen

◇ perfect [pəˈfekt] v. = make perfect or complete

cf. perfect [pəˈfekt] adj. = having everything that is necessary, complete and not damaged

◇ ..., (even) if (the art was) not invented,

◇ invent = create or design (a new design, process, etc.)

※ 日本語の「発明する」より意味が広い点に注意。

ℓ. 9 ◇ when: 非制限用法の関係副詞

ℓ. 10 ◇ be rooted = ① *be firmly established* ② stand still through fear or amazement

○ 本文のbe rootedは①の意味で用いられているが, ②の意味は盲点。次のように用いる。

cf. He *was rooted* to the spot by surprise [fear].

(彼は驚いて〔恐怖で〕その場に立ちすくんだ。)

◇ legend = a traditional story from the past which may or may not be true

選択肢 h

◇ local = having to do with a particular place or district

◇ record [rɪkɔːrd] *v.* = indicate; show evidence of; register

cf. record [rɛkərd] *n.*

◇ incident = ① something that happens, especially when of subordinate importance in relation to something much larger. Thus, if small groups of soldiers fight on a frontier, this is an incident. If war follows, the war cannot correctly be called an incident. ② *happening which attracts general attention*

◇ surfing experts sang special songs

↑ { to celebrate ~ ,
to bring ~ ,
and
to give ~ .

◇ challenge = call on someone to do something difficult or take part in a fight

選択肢 b

◇ connect A to B = connect A with B; realize that there is a link between A and B; to succeed in finding a link between A and B

本文

ℓ. 11 ◇ white-skinned 「白い肌を持った」

○ -ed : 名詞につく形容詞語尾「～を持った；～の特徴のある」の意を含む。

◇ aspect = ① [*of a situation, problem*] *one part of something that has many parts*

② [*of an idea, plan*] a particular way of considering something ③ [*of a building*] the direction in which a building faces

ℓ. 12 ◇ rule = have a powerful and restricting influence on

◇ a code of taboo 「禁忌律」

○ code = a set of principles or rules of behavior

○ taboo = [U] (among some primitive races) the custom of avoiding certain acts, words etc. from a feeling of religious fear

ℓ. 13 ◇ grow = cause or allow to grow

◇ predict = state that (an event) will happen in the future

◇ build = make; construct by putting parts together

ℓ. 14 ◇ convince A to ... = persuade A to ...

◇ it = the surf

ℓ. 15 ◇ was divided into < divide A into B = split A up into smaller parts

◇ distinctly = clearly

cf. distinct = ① that is different enough to be considered a separate thing or type

② [improvement, possibility, impression] that is definite and clearly noticeable

◇ royal (classes) and common classes 「王室階級と平民階級」

○ この省略パターンは頻出。

○ royal = related to or having the status of a king or queen

○ common = relating to a community at large

ℓ. 17 ◇ generally = usually

◇ up to = as many as a certain number but not more

ℓ. 18 ◇ chief = a leader or ruler of a people

◇ as long as ~ 「～もの長さの」

選択肢 f

◇ throw together = bring into casual association

◇ collision = the act of colliding

< collide = hit by accident when moving

本文

ℓ. 19 ◇ *less than 50 years* after Captain Cook made contact with the Hawaiians : 副詞相当語句。

◇ contact = the state of communicating or meeting

ℓ. 20 ◇ the son and successor of ~ 「～の息子兼後継者」

○ successor = *one* who inherits the title, property, etc. of another; heir

◇ Kamehameha I 「カメハメハ 1 世」 (1758? ~ 1819) : Hawaii 諸島の統一者でカメハメハ朝の初代の王

◇ publicly = in public; with other people present, including strangers

ℓ. 23 ◇ refusal = the act of refusing

< refuse = express or show unwillingness to give, accept, submit to, perform, etc.

◇ obey = ① *do what is ordered by (a person, law, etc.)* ② behave in accordance with (a general principle or natural law)

◇ throughout = all the way through

◇ that : 「同格」の名詞節を導く接続詞。

選択肢 c

◇ As ~, so ... ① 「～であるように, (そのように) ...」 ② 「～と同時に, ...」, 「～するにつれて, ...」

※ so の後ろは倒置されることがある。

○ 本文は, so did surfing's ritual significance within Hawaiian culture (decline) と考えるとよい。

◇ decline = become weaker

◇ ritual = *adj. relating to or done as a ritual*

n. ① a religious or solemn ceremony involving a series of actions performed according to a set order ② a series of actions always followed by someone without variation

◇ significance = importance

本文

ℓ. 25 ◇ start = the point at which something begins

◇ all but = ① *very nearly* ② all except

※ このbutは前置詞でexceptの意味である点に注意。

◇ gone = no longer present or in existence

ℓ. 26 ◇ Most of the surfing took place on the south shore of Oahu, 「サーフィンのほとんどはオアフ島の南海岸で行われて,」

○ take place = occur; happen; be held

○ shore = the land along the edge of a sea, lake, etc.

◇ with a few surfers at spots on Maui, Kauai and the other islands.

O

C

○ with + O + C 「O を C の状況にして」: 付帯状況。

○ spot = a particular place or point

ℓ. 27 ◇ , with one out of every four Hawaiians living there

O

C

○付帯状況

○ one out of every four Hawaiians = one each group of four Hawaiians 「ハワイに住む人間の4分の1」

○ out of: used as a function word to indicate choice or selection from a group

ℓ. 28 ◇ rarity = ① U rareness; being rare, thin, or scarce ② C *a rare, uncommon object*

ℓ. 29 ◇ native = belonging to a particular place by birth

◇ Diamond Head 「ダイヤモンドヘッド」

○ Hawaii州Oahu島南東部の岬をなす死火山 (232m)

ℓ. 30 ◇ solitary = being, living, or going alone

◇ most likely ≡ probably (“likely” may be used alone in American English; *in British English it must be preceded by very, most, quite, etc.*)

※したがってℓ. 30のmost likely posing for the cameraを「ほとんどがカメラにポーズを取って」と解するのは、初学者が犯しがちな誤訳。

◇ pose = hold a particular position or attitude, especially for an artist

◇ where (at one time) hundreds had surfed

○ hundreds = a large number

ℓ. 32 ◇ disappear = cease to exist

選択肢 e

◇ at the crucial moment 「このような苦難の時に」

※ at the crucial momentは通常「決定的な瞬間に」と解するが、前段落の「サーフィンがすたれてきていた」という内容から考えて、この文脈では「このような苦難の〔危機的な〕時に」と解する。

○ crucial = critical; very important; having to do with some final and decisive trial

◇ attract *one's* attention = catch *one's* attention; make *one* notice somebody

◇ curious = ① *eager to know or learn something* ② strange; unusual

本文

ℓ. 33 ◇ dramatic = exciting or impressive

◇ supporter = *one* who gives support; *one* who provides for, helps, encourages, or approves

ℓ. 34 ◇ spread = become widely known

ℓ. 35 ◇ lively = full of life and energy

◇ unique = being the only one of its kind; having no equal; unmatched

◇ local = of a particular place or district, *e.g.* the place where *one* lives; belonging to or only found in a particular place or district 《not “away from the capital”, which is *provincial*》

◇ grow into = become (something) , with the passing of time

◇ status = the situation at a particular time

ℓ. 36 ◇ unlike = in contrast to

ℓ. 37 ◇ evolve = develop gradually

◇ survive = continue to live or exist

◇ despite = in spite of

◇ commercialism = emphasis on making as much profit as possible; the attitude that is based on the belief that making a profit is the most important thing

◇ accompany = go along with; escort; happen together with; do (an action) at the same time or immediately following another

※日本語で言うと「～を伴う」ではなくて「～に伴う」の意味である点に注意。

例えば, Thunder *accompanies* lightning. は「lightningに続いてthunderが聞こえる」のだから,

×「雷は稲妻を伴う。」ではなくて

○「雷は稲妻に伴う。」としなくてはならない。

ℓ. 38 ◇ popularization

< popularize = make a lot of people know about something and enjoy it

ℓ. 39 ◇ millions = an extremely large number of

不要な2つの選択肢の意味は次の通り。

a サーフィンほど印象的で興奮するスポーツはほとんどない。

d サーフィンは、初期のハワイの人々の生活の中で禁忌律に厳しく支配されることのないかけがえのない側面の1つであった。

選択肢 **a**

◇ exciting = causing excitement or interest; thrilling

選択肢 **d**

◇ Surfing was one of the only aspects of ~ life



not strictly controlled by taboo rules

one of the only ～を「唯一の～の中の1つ」と解すると論理的に変である。

このonlyはbestの意味と取って「最高の（最良の、かけがえのない、ピカイチの）～の中の一つ」と解するのがよい。

この only は、例えばour only scientist「わが国第一の科学者」のように用いるonlyである。

盲点

【2】

解答

「全訳」下線部参照。

全訳

私はある午後に近所の動物園を訪れようとしたが、改修工事のために閉鎖されていた。方向を転じ、帰路につきながら、私はあの老いた黒サイのことだけを考えていた——動物園が再開された時に、彼は再びいるだろうかと思案して。私のこれまでのかなりの回数に及ぶ訪問から判断して、あのサイが人気を集めたことなど一度としてなかったが、それはあまりに動きが乏しくて長時間眺めてはいられなかったからであろう。それでも私にはそのサイが最も魅力的だった。あまりにも動かないだけに、最も近づいてみたいものだったのだ。

注

ℓ. 1 ◇ renovation 「再新」

cf. innovation (新機軸導入)

ℓ. 2 ◇ head toward = move toward

ℓ. 3 ◇ numerous = great in number

ℓ. 4 ◇ draw *n.* = a thing that attracts people

cf. draw *v.* = attract

◇ being (, I suppose.) entirely too inactive …

○分詞の副詞的用法：分詞構文。

○beingで始まる分詞構文は基本的には「原因・理由」の意味しか表さない。

◇ I found him $\left\{ \begin{array}{l} \text{the most attractive} \\ , \\ \text{the most challenging to draw near to for that.} \end{array} \right.$

○ find A (to be) C 「A が C だとわかる」

cf. I found the book interesting. (その本は読んでみたら、面白かった。)

○ the most challenging to draw near to

○ challenge A to … 「A に…できるものならしてみろと挑む」

cf. I challenge you to find anyone who is willing to pay more tax.

(もっと税金を払っても致し方ないという人がいるのなら、見つけてきてもらいたいね。)

上記より、

「近づいてみると最も挑発するもの→最も近づきたいもの（最も魅力的なもの）」と考える。

○ that : 「サイ」 がまったく動かないこと。

【3】

解答

- (1) job (2) left (3) a (4) c (5) 昇給
(6) 初任給 (7) e (8) e (9) b (10) d

解説

- (1) ○ his offer of a *job* > He offered (him) a *job*.
○後の内容から判断／空所の前に不定冠詞があるのでworkは不可。
- (2) 「彼はわずかに 10 ドルのみ残っていた。」
○ be down to = have only a little (money) left 「(お金が) ～だけになってしまっ」
- (3) a pay 「より多くの給料に値する。」
○ deserve = be worthy of
- (4) ○ 下線部④ 「それ (= 要求の内容) を支援すべき正当性がある。」
○ back up = support
a 人がその要求をなすに足るだけ正直である。
b 人が要求を信奉することにおいて十分に正当化されている。
c その要求を支持する健全な土台がある。
○ sound = healthy
○ ground = reason
d 彼の要求信奉を維持することに対して理由がある。
b, d は共に「要求」の内容ではなく「要求することは良いことだという『信条』に正当性があることを述べているので不可とする。「全訳」に当てはめて支障がないように現在形の訳を示す。
- (5) ○ one = a raise
○ he does = he asks for [demands] a raise
- (6) ○ that = his salary to start
- (7) e worst
○ it = love
- (8) ○ head off = prevent cf. head = direct 「頭を向ける」
a delay = d postpone
b lead ~ aside 「～を脇へ導く」
c pick off = remove (from a plant)
- (9) ○ ⑧ But Peter ..., ⑨ He believed in demandを参照。
a 人は自分の従業員たちに対して厳格であるべきである。
b 人は自分に与えられて然るべきだと思うものを要求すべきである。
○ what (you think) is due to you
カッコ部分を挿入句と考えてもよい。
○ due to = given to (as a duty) 「義務的に～に至る」

c 人は自分の従業員たちに支払わねばならないよりも多くを支払うべきでない。

○ men = workers

○ more than you have to (pay)

d 人は自分の親戚たちに対して思いやりのある態度を取るべきである。

○ considerate = thoughtful; kind

(10) ○ 第5段落に描写されているJeffreyの心情や様子を読み取る。

a courtesy = polite behaviour; good manners 「礼儀正しさ」

cf. courteous 「宮廷 (= court) に相応しい→礼儀正しい」

全訳

数週間経って、その間ずっと距離を置いて見守っていた彼の伯父は同じ申し出を繰り返した。今回はジェフリーは受け入れた。彼は受け入れなければならなかった。彼は最後の10ドルを残すばかりとなっていたのである。

事情はあらゆる点で悪過ぎた。ジェフリーは今や親族以外の誰も自分を採用しないであろうと固く信じていた。そしてピーター・ランバートは今や自分が職を提供しなければ、このかわいい甥が自分のところへではなく見つければほとんどどこへでも働きに行ってしまうであろうと確信していた。このためにどちらも満足してはいなかった。

彼の初任給は週給40ドルであった。6カ月を経た後も、週給40ドルであった。1年を経た後も、それは依然としてそのままであった。彼は良く働いており、それ以上の給与に値していた。そして彼の伯父もそのことには気づいていた。しかし、ピーター・ランバートは自分が所有するものすべてを、黙ったまま、人から与えられるのを待つのではなく、自ら要求することによって手に入れてきた。彼は要求することが大事なことだと信じていた——もちろん、それを裏付けるだけの正当な理由がある場合に限られるけれども。ジェフリーは昇給の話題で彼に近づいたことはなかった。

「そして、彼が自ら要求してくるまで◎昇給はさせまい。」とジェフリーの伯父は自らに誓った。

これはしつけの問題、すなわち戒めであった。ランバートには、ジェフリーにとっては昇給がないことが、まさに自分の救い難い無能力のまた1つの証拠になってしまっているということが分かっていた。丸1年が過ぎた——そして僕は働き始めた時と同額の給与にしか値していない！いいや、①初任給にすら値しないだろう。この頃の彼に直面していたら、真面目で仏頂面の大柄な男——その立派な双肩がわずかにうちひしがれている点を除けば若い——と思ったことだろう。彼と出会い、握手をしていたら、礼儀正しいが反応が薄い男と思ったことだろう。何かに心を奪われて上の空なのか、それとも——それとも何だろう？

次いで、彼は恋に落ちた。それは前触れも予告もなく起こった。そしてそれは恋愛の中でも最悪のものであった。後になってジェフリーは、もしそれが近づいて来るのが見えさえしていたら、自分はそれを回避することもできただろうし、また実際にそうしていただろう、と心中でつぶやいた。しかし、彼にはそれが見えなかった。

注

ℓ. 1 ◇ afar = at a distance

- ℓ. 3 ◇ all around = in every way
 ◇ but = except; apart from; other than
- ℓ. 4 ◇ pet = favorite
 ◇ nephew 「甥」 ⇔ niece 「姪」
- ℓ. 5 ◇ would : 仮定法
 ◇ A rather than B = not B but A
 ◇ content = satisfied
- ℓ. 6 ◇ his salary to start 「最初の彼の給与」
- ℓ. 7 ◇ it still was (forty dollars a week)
 ○ a = for each; per
- ℓ. 8 ◇ he did = he deserved more
 ◇ got everything (that) he had
- ℓ. 9 ◇ believe in = consider (something) to be of worth
 ◇ provided = if; providing
- ℓ. 10 ◇ on = about; concerning
 ◇ subject = a matter
- ℓ. 11 ◇ raise = an increase in wages or salary
- ℓ. 12 ◇ vow ~ = promise or declare solemnly 「～を誓う」
- ℓ. 14 ◇ simply = completely; absolutely
 ◇ A whole year — and …
 「全訳」では、ジェフリーの内面の独白としての訳を示している。描出話法。
 ◇ worth = equivalent in value to the sum or item specified; having income or property amounting to a specified sum
 ◇ no more them = only
- ℓ. 15 ◇ Had you encountered … = If you had encountered …
 ○ 仮定法過去完了。ifの省略による倒置。
 ◇ encounter < in- + contra- [= against]
- ℓ. 17 ◇ droop = an act or instance of drooping < droop = bend or hang downwards
 limply
- ℓ. 18 ◇ preoccupy = dominate the mind of (someone)
 < pre- [= before] + occupy = seize beforehand 「前もって取る」
- ℓ. 19 ◇ preamble = an opening statement; an introduction
 cf. ambulance (救急車 (< 移動病院))
- ℓ. 20 ◇ if … had … could have, … would have …
 ○ 仮定法過去完了。if … only …。
 ◇ would have (headed it off)

【4】

解答

「全訳」下線部参照。

全訳

本書を執筆するに当たっては —— 他に適当な名称が思い浮かばないので、私のようなつまらない人間の自叙伝とでも呼ぶより他はないが —— 私の意図は、私の私生活の取るに足らない細部について書くことよりも、むしろ、私や、ことによるとあるいは私の周囲にいた者たちが文学の領域でやってきたことについて書くこと、すなわち、おそまつなものにすぎない私の失敗と成功と、そしてそれらをもたらした要因について書くことにあるだろう。

解説

文が長いので、まずは大まかな文の区切りを把握する。

In writing these pages, which (挿入) I shall …

→ 前置詞句 + 非制限用法の関係詞節

it will not be so much ~ as …

→ 主節

注

ℓ. 1 ◇ which (挿入) I *shall* be fain to call …

○ whichの先行詞はthese pages。

○ callの目的語

○ fain to … 「やむなく…する」

○ call A B 「A を B と呼ぶ」

A = which → these pages, B = the autobiography of ~

◇ for the want of a better name 「よりよい名前が不足しているために《直訳》」

cf. for [from] want of = for lack of

○ want = lack

ℓ. 2 ◇ autobiography 「自叙伝；自伝」

◇ so insignificant a person as myself

○ この so ~ as … は「例示」の働き。つまり、myselfはan insignificant personの具体例。

※なお、as ~ as … は「比較」と「例示」の両方に用いられる。

○ “so + 形容詞 + a + 名詞” の語順に注意する。

○ insignificant < significant = having a meaning

◇ it = to speak : 形式主語のit。

◇ not so much A as B 「A というよりはむしろ B」

A = to speak of the little details of my private life

B = (to speak) of what I (挿入) have done in literature

◇ of = about; concerning

ℓ. 4 ◇ such as they have been < such as it is = although it may not be worth much

○ they = my failures and successes

【5】

解答

- (1) ○ An experiment was conducted to find out whether it is possible to make people (remember) things that had never happened.
- Psychologists have shown that memories of long-ago events can be deliberately or (accidentally) changed by psychotherapists, lawyers or detectives.
- This has disturbing implications for criminal justice and the (court) system.
- Many studies have been (conducted) to investigate the so-called “false-memory syndrome.”
- (2) ○ (Volunteers) were asked to listen to lists of words being read to them, and then to write down the words they remembered.
- The volunteers were not informed of the real (purpose) of the experiment.
- The volunteers were asked to listen to three lists of words containing (fifteen) words each.
- (3) ○ On average each volunteer recalled less than (40 percent) of the words that were read. They also claimed to remember 57 percent of target words that had never been read out.
- (4) Example:

List	Words Read to the Volunteers	Target Word
1	<i>nurse, sick, lawyer, medicine, health, hospital, dentist, physician, ill, patient, office, stethoscope, surgeon, clinic, cure</i>	<i>Doctor</i>
2	<i>hot, snow, warm, winter, ice, wet, frigid, chilly, heat, weather, freeze, air, shiver, arctic, frost</i>	<i>Cold</i>
3	<i>apple, vegetable, orange, kiwi, citrus, ripe, pear, banana, berry, cherry, basket, juice, salad, bowl, cocktail</i>	<i>Fruit</i>

- (5) ○ The volunteers usually falsely remembered the target words (doctor) for the first list, (cold) for the second, and (fruit) for the last.
- On (average) the volunteers were able to recall less than eighteen of the forty-five words.
- When male and female assistants took turns reading the words, the volunteers often claimed that they were sure which assistant had spoken the unspoken (target) words.
- (6) ○ All of the target words are very common ones, and all of the words in the list are (connected) in some way to the target.
- The researchers hypothesized that when we hear words like (bed) , *rest, awake, (tired)* , (dream) , *nap*, and *snore*, our brains automatically select the word *sleep* and adds it to the list of words actually heard.
- However, this simple (theory) has not been able to explain why some lists work

consistently and others don't.

- For example, a list of words associated with the word (*butterfly*) did not produce a false memory of the target word.
- (7) ○ What the results of the test show also applies to memories about life (*events*).
- Any memory lasting more than 30 seconds is part of the (*long-term*) memory and effected by similar influences.
- A detective or (*lawyer*) may also be able to create false memories.
- This could affect (*court*) testimony.

Script

CD 2 12 ~ 14

False Memory

In recent years psychologists have shown that memories of long-ago events can be changed — either deliberately or accidentally — by psychotherapists, lawyers or detectives. Because this has disturbing implications for criminal justice and the court system, many studies have been conducted to investigate the so-called “false-memory syndrome.” One
5 such test was conducted by several psychologists at Washington University. They investigated whether they could make people remember things that had never happened.

Here is how the test was conducted. First of all the volunteers were told that they would be participating in a short test of learning; they were not informed of the real purpose of the experiment. The volunteers were asked to listen to three lists of words to
10 be read. Each list contained fifteen words. After the forty-five words were read to them, the volunteers were asked to write down as many of them as they could remember within four minutes.

The researchers found that on average each volunteer recalled less than 40 percent of the words that were read. The interesting part was that the same volunteers claimed to
15 remember 57 percent of target words that were associated with the lists that they had heard, but had never been read out.

Let's look at an example.

- Volunteers were read the following words: *nurse, sick, lawyer, medicine, health, hospital, dentist, physician, ill, patient, office, stethoscope, surgeon, clinic, cure.*

20 ○ Next they heard this list: *hot, snow, warm, winter, ice, wet, frigid, chilly, heat, weather, freeze, air, shiver, arctic, frost.*

○ Finally they heard these words: *apple, vegetable, orange, kiwi, citrus, ripe, pear, banana, berry, cherry, basket, juice, salad, bowl, cocktail.*

On average the volunteers were able to recall less than eighteen of the forty-five words.

25 But more often than not they falsely remembered the target words *doctor* for the first list, *cold* for the second, and *fruit* for the last. Other researchers tried variations of the experiment, where male and female assistants took turns reading the words. Not only did the volunteers again falsely remember the target words, but they also often claimed that they were sure which assistant had spoken the words.

30 It isn't difficult to see why the words were mistakenly remembered. All the target words are very common ones, and all of the words in the list are connected in some way to the target. The researchers at Washington University hypothesized that when we hear words like *bed, rest, awake, tired, dream, nap, and snore*, our brains automatically select the word *sleep* and add it to the list of words actually heard. However, this simple theory has
35 not been able to explain why some lists work consistently and others don't. For example, a list of words associated with the word *butterfly* did not produce a false memory of the target word. The researchers thus concluded that other factors, as yet undiscovered, must be at work.

Can words in a list be compared to the events in life that people might have to testify
40 about in court? The researchers say yes. Psychologists consider that any memory lasting more than thirty seconds is part of the long-term memory and affected by similar influences. Police detectives and lawyers are skilled at applying pressure when questioning suspects or witnesses. Just as they can make witnesses lose confidence in their real memories, they may also be able to create false ones. (555 words)

虚偽記憶

近年、心理学者たちによって、昔の出来事に関する記憶というものは、精神療法士や弁護士、あるいは刑事によって、故意であれ偶然であれ、変えられ得るものだということがわかってきた。このことは、刑事裁判や裁判制度をかく乱する可能性があるので、いわゆる「虚偽記憶症候群」を調査するために多くの研究がなされてきている。そのようなテストの1つが、数人の心理学者によってワシントン大学で行われた。彼らは、実際には起こっていないことを人々に記憶させられるかどうかを調べたのである。

テストは次のようにして行われた。まず、被験者たちには記憶の小テストに参加してもらうということが伝えられた——この実験の本当の目的は知らされていなかった。被験者たちに、単語の3つのリストが読み上げられるのを聞いてもらった。それぞれのリストには単語が15個ずつあった。合計45個の単語が読み上げられた後、被験者たちに、思い出せる限り全部の単語を4分以内に書き出してもらった。

その結果、それぞれの被験者は平均して、読み上げられた単語の40%以下しか覚えていないということがわかった。興味深いのは、その被験者たちは、リストにあった単語と関係はあるが実際には読み上げられなかった標的単語群のうちの57%を思い出せると答えたことだった。

例を見てみよう。

○被験者たちには以下の単語が読み上げられた：nurse, sick, lawyer, medicine, health, hospital, dentist, physician, ill, patient, office, stethoscope, surgeon, clinic, cure.

○次に以下のリストが読まれた：hot, snow, warm, winter, ice, wet, frigid, chilly, heat, weather, freeze, air, shiver, arctic, frost.

○最後に以下の単語が読まれた：apple, vegetable, orange, kiwi, citrus, ripe, pear, banana, berry, cherry, basket, juice, salad, bowl, cocktail.

平均して、被験者たちは45個の単語のうち18個以下しか思い出すことができなかった。しかし、たいていの場合、例えば最初のリストではdoctorという単語を、2番目のリストではcoldという単語を、最後のリストではfruitという単語を誤って覚えていた。別の研究者たちは、その実験をやり方を変えていろいろとやってみた。男性と女性の助手に交代で単語を読み上げさせたのだが、被験者たちはやはり誤って単語を覚えていただけでなく、どちらの助手がその単語を読んだのかということまで確信があると言ったのである。

なぜ単語が誤って覚えられたのかを理解するのは難しいことではない。読まれた単語はすべてありふれた単語であり、リストの単語はどれも誤って覚えられた単語と何らかの関係があるからである。ワシントン大学の研究者たちは、bed, rest, awake, tired, dream, nap, snoreのような単語を聞くと、我々の脳は自動的にsleepという単語を選んで、実際に聞いた単語のリストにそれを加えてしまうのだという仮説を立てた。しかしながら、この単純な理論では、なぜいつもうまくいくリストとそうでないものがあるのかを説明することができていない。例えば、butterflyという単語に関連する単語のリストは、標的単語群の誤った記憶を生み出すことはなかった。したがって、研究者たちは、それ以外の要因が——まだわかってはいないが——作用しているに違いないと結論付けている。

リストの単語は、法廷証言に関わらなければならないかもしれない人生での出来事に例えられるだろうか。研究者たちは、そう考えている。心理学者によると、30秒以上続く記憶はすべて長期記憶の一部となり、同様の影響を受けると考えられる。刑事や弁護士は、容疑者や目撃者に質問する時に相手に圧力をかけるのが上手い。目撃者の本当の記憶についての自信を喪失させることができるように、誤った記憶を作り出すこともできるのかもしれない。

注

- ℓ. 2 ◇ deliberately 「故意に；わざと」〔⇔ accidentally 「偶然に」〕
 - ◇ psychotherapist 「精神療法士」
 - ◇ detective = police detective 「刑事」
- ℓ. 3 ◇ have disturbing implications for ~ 「~を不安にさせる影響がある」
 - ◇ criminal justice 「刑事裁判」
 - ◇ court system 「裁判制度」
- ℓ. 4 ◇ conduct a study [test] 「研究〔テスト〕を行う」
 - ◇ investigate ~ 「~を調査する」
 - ◇ “false-memory syndrome” 「虚偽記憶症候群」
- ℓ. 7 ◇ here is how … 「次のように…」
 - ◇ volunteer 「(ここでは) 志願して実験の対象になった人」
- ℓ. 8 ◇ learning 「(ここでは) 覚えること；暗記すること」
 - ◇ be informed of ~ 「~について知らされる」
- ℓ. 9 ◇ listen to ~ *to be read* 「~が読まれるのを聞く」
- ℓ. 14 ◇ the interesting part was that … 「興味深いのは…ということだった」
 - ◇ claim to … [that ~] 「…する〔~である〕と主張する；言い張る」
- ℓ. 15 ◇ target word (s) 「対象となる単語（ここでは、ある語の範疇に含まれる単語のこと）」
 - ◇ be associated with ~ 「~と関連がある」
- ℓ. 25 ◇ more often than not 「通常；たいてい」
 - ◇ falsely 「誤って」
- ℓ. 26 ◇ try variations of the experiment 「この実験をさまざまなやり方でやってみる」
- ℓ. 27 ◇ (experiment), where … 「~, その実験では…」
 - ◇ take turns …*ing* 「交互に…する」
 - ◇ not only *did* … *remember* ~, but … [not only が文頭にくると, SV (or 助動詞) が倒置される]
- ℓ. 31 ◇ in some way 「何らかの点で」
- ℓ. 32 ◇ hypothesize (that …) 「(…であると) 仮定する；仮説を立てる」
- ℓ. 35 ◇ consistently 「いつも；常に」
- ℓ. 37 ◇ conclude that … 「…であると結論づける」
 - ◇ as yet undiscovered 「まだ見つかってはいないが」
 - ◇ at work 「作用している」
- ℓ. 39 ◇ be compared to ~ 「~に例えられる」

◇ testify 「証言する (特に法廷で)」 cf. court testimony (法廷での証言)

ℓ. 40 ◇ any memory *lasting more than* ~ = any memory *that lasts* more than ~

ℓ. 41 ◇ long-term memory 「長期記憶」

◇ be affected by ~ 「～に影響される」

ℓ. 42 ◇ be skilled at ...*ing* 「...するのが上手い」

◇ apply pressure (on ~) 「(～に) プレッシャーをかける」

◇ suspect 「容疑者」

ℓ. 43 ◇ witness 「目撃者」

◇ just as ~, ... 「ちょうど～ように, ...」

【6】

解答

a d e h j

解説

本問は内容真偽問題の形式として東京大学で日本で最初に出題された問題である。

- a 「象は草を食べているとき、通例、おだやかな様子をしている。」原文のℓ. 2 (with that genial ... elephants have) から判断して○である。
- b 「そのころ私は若かったけれども、動物を殺すことは全くきらいだった。」ℓ. 3 (At that age ... very much) から見て×である。
- c 「大きな動物を殺すことは、小さな動物を殺すことと同じように悪いことである、と私には思われる。」ℓ. 4～5 (Somehow ... large animal) から見て×。
- d 「その象というのは、あるビルマ人によって所有されている飼いなされた象であった。」原文には、はっきりと表れていないが、問題の指示の冒頭に「ビルマ人の飼っていた象が…」とあるので、これは○である。この種の問題では、その問題の指示を必ず読んでおかねばならないということを肝に銘じておくこと。
- e 「私はその象の持ち主のことを考えなければならないと思った。もし私がその象を殺すようなことがあれば、私は彼に大きな損害を与えることになるだろう。」ℓ. 4～6 (there was ... five pounds, possibly.) から考えて○。
- f 「幾人かの経験豊富そうなビルマ人は『たとえあなたが象の近くへ行こうと行くまいと、象はあなたに襲いかかるでしょうから、大変危険です』と言った。」ℓ. 7～10 (I turned ... close to him), 特に, ℓ. 9～10 (he might ... close to him) を見れば×であることがわかるはず。
- g 「私は象を撃ち殺したかった。なぜなら象の牙は私に5ポンド以上もたらしてくれるだろうから。」ℓ. 5～6 (Alive, ... possibly) から判断して×。
- h 「私はもっと近づいて、その象が私に襲いかかるかどうか試さなければならないと思った。」ℓ. 10～11 (I ought to ... test his behaviour) から見て○。
- i 「私には、何をなすべきか、わかっていた。私は象のところまで歩いて行って、象を生け捕りにすべきなのだ。」ℓ. 10～12 (It was perfectly clear ... came back) を見ても, catch him alive (生け捕りにする) とは一致しないから×。

- j 「もし象が私に襲いかかるならば、それはするのに大変危険なことであることはわかっていても、象を撃つほかない、と私は思った。」ℓ. 11 (If he charged …) から終わりまでから判断して○。

全訳

私は象が彼ら特有のあの祖母みたいなやさしい様子で一束の草をひざに打ちつけているのを見つめていた。私にはその象を撃つのは殺人であるように思われた。その年齢のころ、私は動物を殺すことを大して気にもしていなかった。しかし私は象を撃ち殺したことは一度もなかったし、撃ちたいと思ったこともなかった。どういうわけか、大きな動物を殺すことはいっそう悪いことのようにいつも思われるのだ。その上、考えておかねばならない象の持ち主のこともあった。象は、生きていると、少なくとも百ポンドの価値はあった。しかし死んでしまうと、彼の牙の値打ち——それはたぶん5ポンドだが——しかないであろう。しかし私は敏速に行動しなければならなかった。私は、我々が到着したときそこにいた数人の経験豊富そうな顔つきをしたビルマ人の方を向いた。そして彼らに象はどのような行動をしてきたかとたずねた。彼らはみんな同じ事を言った。すなわち、君がちょっかいを出しさえしなければ、象は君には気をとめないが、もし君が彼に近づきすぎると彼は襲いかかるかもしれないと言うのだった。私には、どうすべきかということが完全にはっきりしていた。私は、まあ25ヤード以内まで象のところへ歩いて行って、彼の行動を試してみるべきだ。もし彼が襲って来たら、私は撃つことができるし、もし彼が私に気をとめなければ、象使いが戻ってくるまで象をそのままにしておくのが安全だろう。しかし、私はそのようなことは決してしないとわかっていた。私はライフル銃を撃つのが下手なので、もし象が襲いかかって来て、私が撃ち損ねたら、私は蒸気ローラーの下敷きになったひきかえるとほとんどまったく同じような運命になるだろう。

注

- ℓ. 1 ◇ beat A against B 「A を B に打ちつける」
◇ bunch 「束」
◇ genial 「温和な」
ℓ. 2 ◇ air 「様子」
ℓ. 3 ◇ mind ～ 「～をいやに思う」
ℓ. 4 ◇ besides 「その上」
◇ consider ～ 「～を考慮する」
ℓ. 6 ◇ tusk 「牙」
ℓ. 7 ◇ had got to … < have got to … = have to …
ℓ. 8 ◇ behave 「振る舞う；行動する」
ℓ. 9 ◇ take no notice of ～ 「～に注意しない」
◇ leave ～ alone 「かまわないで～をほっておく」
◇ charge 「襲いかかる」
ℓ. 10 ◇ up to ～ 「～まで」
ℓ. 11 ◇ say 「例えば、まあ」
ℓ. 12 ◇ mahout 「象使い」

ℓ. 13 ◇ be a poor shot 「射撃が下手である」

ℓ. 14 ◇ chance 「運命」

◇ toad 「ひきがえる」

ℓ. 15 ◇ steam-roller 「(道路をならす) 蒸気ローラー」

解答例

If I were reborn as an animal, I would like to be a cat. Cats are graceful, elegant, and independent. However, even when they don't meet this ideal, even when they are fat, old, sick, or injured, cats always seem to be content with themselves. The only times I have ever seen cats make a great fuss were when they were confined against their will. What I most admire about cats is their independence and self-contentment. [76 words]

解説

○ This is a question that can be answered rather freely. There are two main grammatical points that are likely to be involved.

- 1) Since the question is hypothetical, it is natural to use the subjunctive, as in the first example below.

If I were reborn, I would like to be a bird.

I would like to be reborn as an octopus.

However, it is possible to answer the question in other ways.

All of my life I have wanted to be a kangaroo. Don't laugh. There's a lot to be said for kangaroos.

- 2) The plural form is the easiest to use when making generalizations, though there are also other ways. *Most people like dogs* sounds more natural than *Most people like the dog*.

○ By the way,

When he was a boy, a famous American writer was once asked by a doctor in his hometown what animal he would like to be. He answered that he would like to be a snake. The doctor asked him whether he wanted to be a poisonous snake or a nonpoisonous snake. He answered, "A poisonous one, of course." When the doctor asked why, he replied, "I'd feel much safer. Everyone respects poisonous snakes."